



インディアナ日本語学校便り

学校教育目標 自ら学び、正しく行動する国際性豊かな児童生徒の育成

2 学期終業日

コロナ禍のため、いろいろな制限がまだ残り、まったく以前のおりではないところがありますが、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで教育を進めることができました。さらに、ベル当番の復活、そして、小学部社会科学授業、高等部の弁論大会審査員、運動会の準備と片付けなど、運営委員や保護者の会の方々など、多くのみなさまに支えられて、2 学期最終日を迎えることができました。今学期も、本当に感謝いたします。

子どもたちは、学校へ毎週みんなとてもいい笑顔で下校しています。3 学期も、インディアナの寒さに負けずに頑張りましょう。

インタビュー 5 年 2 組

「お母さんへのインタビュー」

満山陽香

わたしがお母さんにインタビューした理由は、今までお母さんの仕事についてくわしく聞いたことがなかったからです。お母さんは21才から看護師として働いていたそうです。お母さんが看護師になった理由は、お母さんのお母さんも看護師で、大変だけどやりがいがあると聞いたからだそうです。もう一つは、人を助ける医者のお手伝いをしたかったからだと言っていました。しかし、がん者さんが亡くなってしまうとすごく悲しいと言っていました。でもその分、がん者さんとふだん会話するときや退院するときは、とても楽しくてうれしいと言っていました。お母さんは看護師になってよかったと言っていました。とてもやりがいがあり、常に勉強が必要ですが、たくさん学べるからだそうです。わたしはこの話を聞いて、お母さんの知らなかった一面を知ることができました。日本に帰ったら、また看護師として働く姿を見たいです。

「美術部で絵をかいている姉にインタビュー」

小嶋夏希

姉は部活見学で美術部を見て自分にぴったりくると決めて決めたそうです。姉の好きな絵は「もくたん」というらしいです。もくたんは、黒いすみだけでかくものです。もくたんが好きな理由は、もくたんで絵をかくと立体感がでるからだそうです。姉は将来、ネットに絵を上げてかせぐ仕事をしたいそうです。姉は今も、疲れたときとか休けいするときに絵をかきたくなるそうです。姉は4才から絵をかいています。最近は動物の絵が好きでかいているそうです。昔日本にいたときは、よく花の絵をかいていたそうです。

インタビューをしてみて、姉がすごく努力していることや、ぼくの知らなかった姉のことが分かりました。

「ケリーさんと学校の保健室の先生のお仕事」 鳥居紗名

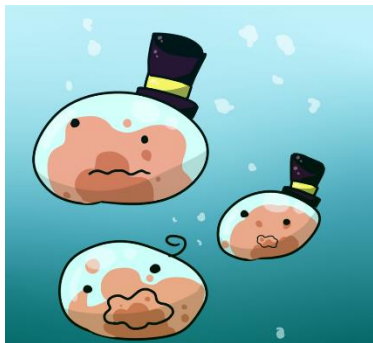
ケリーさんは子供が大好きで、人を助けたいという思いで看護師になりました。そして結婚して家庭をもったので、学校の保健室の先生になりました。私がケリーさんにインタビューをした理由は、私は小さいころ看護師になりたかったからです。保健室の先生が一番の仕事は、校内の感染を広げないようにすることです。また、心の問題を抱えている子供の話を聞き、学校のカウンセラーや家族、地域の相談所などに伝えることも大切な仕事です。保健室の先生として大変なことも聞いてみました。それは、保健室に来た子供の状況に応じて、家に帰らせた方がいいか、まだ学校にさせた方がいいかを決める責任があることだそうです。でもケリーさんはこの仕事が好きだと言っていました。やさしい気持ちと責任感を持って働いているケリーさんは私のあこがれです。

宮崎 百葉

私が五月の場面で一番心に残ったところは、「かにの子どもらも、ぽつぽつぽつ、と続けて五、六つぶ、あわをはきました。それは、ゆれながら水銀のように光って、なめらかに上の方へ上っていきました。」という場面です。なぜなら、「兄弟のかにがぽつぽつとはいた」のぽつぽつという作者の独特な表現が、私は好きでした。それから、かにの兄弟がはいたあわという行動に対して、「そのあわが水銀のように光り、ゆれながらなめらかな上の方へ上っていった。」ここの表現から、私はとてもきれいだという情景がうかびました。私が十二月で一番心に残ったところは、やまなしが落ちてきたところです。なぜなら、初め「トブン」と鳴ったとき、かわせみが来たと思ったけれど、本当はやまなしだったのでほっとしました。私はやまなしとは何か私は分からなかったけれど、話を読んでみると「二、三日するとおいしいお酒になる」と書いてあって、おどろきました。私はクラムボンについてもっと知りたいです。なぜなら、筆者が書いたなぞの言葉なので、なぜそれを書いたのか知りたいからです。



アンダソン 仁



「やまなし」の五月の場面で心に残った所は、かわせみが水に飛びこんでくる所です。その時に、魚がとられて連れていかれていました。なぜこの場面が心に残ったかという、それを見たかにの二ひきがとてもこわがっていたからです。そのかには子どもですし、もしぼくがあのかにのどちらかだった場合は、ぼくもふるえていたと思います。なにせ魚が連れていかれるのを、目の前で見たのですから。十二月の場面で心に残ったのは、子どものかに二ひきがあわの大きさを争っている所です。なぜかという、かにはあわの大きさを争う所を想像してみると、とてもかわいらしく見えたからです。弟の方が負けずぎらいというのがよく分かりました。不思議に思ったことは、クラムボンの存在です。クラムボンは作者が作った生命体です。ただ分かることは、かぷかぷ笑い、はねる。そして殺される、ということしか分かりません。早く生命体は何なのかを知りたいです。これが、ぼくが「やまなし」を読んで感じたことです。

アメリカと日本のちがい

5年1組 花野 瑛都

ぼくは、ついついとうた君にインタビューしました。今は、一番の友だちです。「アメリカと日本のちがい」について、とうた君の考えを聞いてみました。

とうた君は、もっとアメリカのことを知りたいと言っていました。ついつい君がアメリカに来てすごくびっくりしたのは、アメリカでは、じゅうをもっていることになっていることだそうです。アメリカに来てよかったことは、友だちがふえたことと、アメリカと日本のちがいを知ることができたことだそうです。例えば、お金のちがいで言えば、二十五という単位のコインが日本にはないのと、アメリカでは、穴が開いているコインがないことです。スーパーマーケットのちがいは、日本では、小さいスーパーマーケットや中くらいのスーパーマーケットの方が大きいスーパーマーケットより多いのに、アメリカでは大きいスーパーマーケットが多いということです。インタビューをして感じたことは、とうた君はコインやスーパーマーケットの大きさなど、日本とアメリカのちがいの注目点がぼくとちがっていて面白いということです。ぼくもまた、アメリカと日本のちがいについて考えたいと思いました。

花野君は、筒井君は面白く、コインやスーパーマーケットの大きさなど、日本とアメリカのちがいを見つけることが出来て素敵だなと思っています。そして、「ぼくもまた、アメリカと日本のちがいについて考えたいと思いま

した。」とまとめています。校長は、このような子どもたちがたくさん育ってくれることを願っています。

いろいろな旅行の体験や、現地校で自分で何とか解決して切り抜けるという経験を通して、人生の中で、アメリカに住み、やりきったという、おみやげをいっぱい心に詰め込んで、日本に持ち帰ってほしいです。

幼稚部クリスマス会 12月3日



12月3日サンタクロースが幼稚部に登場し、子どもたちから歓声が上がりました。あいさつの後、最初に、「8人のサンタクロース」という紙芝居をサンタさんが読みました。

幼稚部の皆さんは、真剣に、とっても興味をもって集中して最初から最後までシーンとして、聞いていました。次に、一人一人にプレゼントが配られました。みんなとっても嬉しそうでした。

子どもたちにとって、とても楽しいクリスマス会となりました。サンタクロースが出て行った後、サンタクロースは誰なのだろうと話題になったそうです。

さて、もうすぐクリスマスです。日本の料理といえば、寿司、てんぷら、ラーメンなどがあげられますが、アメリカの料理と言えば何でしょう。

アメリカの食べ物を紹介しよう!!

クリスマスの食文化理解 12月25日



12月25日は、クリスマスです。ハロウィーンが終わり、サンクスギビングが終わると、次はクリスマスとアメリカのホリデーシーズンです。11月のサンクスギビングデー(Thanksgiving Day)は、伝統メニューのごちそうを作り、家族・親戚で集まるなど、日本のお正月を思わせる祝日でした。この日にごちそうを食べたあとは、たいていみんなソファでつくろいだり、ときにはお昼寝をしたり、リラックスしています。アメリカでは、来てもらった人にゆっくりしてもらえると、招待した側もうれしいようです。

アメリカの食べ物を日本に紹介する時は、ステーキやハンバーガー、フライドチキンだけでなく、行事の日の料理を理解することとても良いことです。

このサンクスギビングデーやクリスマスに欠かせない料理というと、「七面鳥(Turkey)」です。日本ではあまり一般的ではありませんが、七面鳥はアメリカではごく一般的な食べ物で、スーパーでも年中売られています。特にサンクスギビングデーやクリスマスでは、オーブンで焼いた七面鳥(の丸焼き)を食べます。チキンの丸焼きと比べて、比較にならないくらい大きく、びっくりしてしまいます。

売られている七面鳥



クリスマスに七面鳥



クリスマスのごちそうと言えば、アメリカでは七面鳥の丸焼きです。しかし、七面鳥を食べることは実際クリスマスの伝統的な習慣ではありません。ヨーロッパのクリスマス料理と言えば、もともと牛肉料理、豚肉料理、美味しい洋菓子がメインで、よく食べられた鳥類もターキー(Turkey)ではなく、ガチョウ(Goose)です。

今、ヨーロッパでもクリスマスに七面鳥を食べるようになったことは、伝統ではなく、アメリカからの影響です。

では、なぜクリスマスになるとアメリカの人たちは七面鳥(ターキー)を食べるのでしょうか？

クリスマスに、七面鳥をなぜ食べるようになったの？

ヨーロッパからアメリカに移り住んだ移民たちは作物がなかなかうまく育たず、飢えて死にそうになりました。(学校だより 96号で紹介)

その時、ネイティブアメリカン(インディアン)たちに助けられました。彼らは七面鳥などの食べ物を移民たちに食べさせました。翌年、大収穫した移民たちは、恩人であるインディアンたちを感謝して、そして収穫をお祝いするために、ネイティブアメリカンたちを招待して感謝祭を行いました。(サンクスギビングデー)

そして、七面鳥も感謝祭の代表的な料理として、クリスマスや結婚式のお祝いの行事に七面鳥を食べるようになったのです。

その後、アメリカの影響で、ヨーロッパの多くの国までクリスマスディナーに七面鳥を食べる習慣が広まり、さらにクリスマスをお祝いする世界中の国に伝わりました。



スタッフィング

七面鳥を食べるには、焼く前にスタッフィングを詰める

内臓を取って空洞になったターキーのお腹の中に、スタッフィングを詰めます。スタッフィングとは食べるためというより、香りづけの役割の方が大きいです。具の材料は、レモン、オレンジ、リンゴ、タマネギをくし切りにしたもの、ハーブ(タイムとローズマリー)を詰めたりします。また、角切りにしたパンとさまざまな野菜や栗などを入れて焼かれたものを詰めたり、ライスを入れたり、それぞれの家庭によって“家庭の味”があります。

アメリカのオーブンは大きいので、七面鳥もなんとなく収めてこんがり焼いてくれます。(大きいので焼くのに3~4時間かかる。)

肉は、お好みのタレやソースにつけて食べます。

クランベリーソース



七面鳥(ターキー)のつけ合わせに欠かせないのが甘い「クランベリーソース」です。アメリカや海外では、お肉によく甘酸っぱいフルーツソースをかけてその組み合わせを楽しみます。味の濃いソーセージやハムや、しょっぱい料理、お肉やバターをふんだんに使った料理には、フルーツの甘味とサッパリ感が合います。

グレービーソース



ロースト・ターキーの肉汁を使って、必ず作るのが「グレービーソース」です。もちろんターキーや、その他マッシュポテトなどにもたっぷりかけてからいただきます。ローストビーフやご飯にかけてもおいしいです。

友人のチャドのお宅でいただいた伝統料理。サンクスギビングデー

- ① 七面鳥の丸焼きの料理 ②カボチャのパイ ③サラダ ④生野菜の寄せ集め
- ⑤ Broccoli の Casserole (Broccoli, Rice, Onion, Celerly, Chicken soup, Cheese を Oven で、焼いたもの)
- ⑥ Sweet Potato Casserole (Yam Potato を Oven で焼いたもの) ⑦果物の寄せ集め
- ⑧ Corn Casserole (Corn を Oven で焼いたもの) ⑨ Roll (パンも一口パン)

1 マッシュポテト



2 ヤムポテト



3 野菜を茹でたグラッセ



1 マッシュポテト…アメリカの食卓の定番です。お肉と一緒に食べると格別^{かくべつ}です。

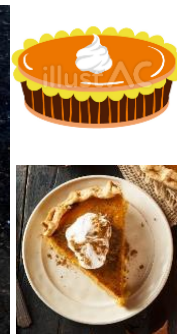
2 ヤムポテト…アメリカではサツマイモを表します。このアメリカのサツマイモは中身が鮮やかなオレンジ色で、日本のサツマイモより水分が多い品種です。

3 野菜のグラッセ…様々な野菜を副菜として食べます。グリーンビーンズや人参、マッシュルームやアスパラガスなどをターキーの付け合せという感覚で出します。

4 Casserole グラタン



5 パンプキンパイ(Pumpkin Pie)



6 アップルパイ



4 ブロッコリーのキャセロール…ブロッコリーを入れたグラタンのようなものです。

5 パンプキンパイ…デザートとしてこの時期旬のカボチャで作ったパンプキンパイを食べます。暖かいパイにアイスクリームを添えて食べるのが大人気！です。

6 アップルパイ…。おなじみ、リンゴをあまく煮て、パイ生地^{きじ}で包んだものです。



7 コーンブレッド(Cornbread)・・・トウモロコシの粉を使って焼いたパン

トウモロコシはサンクスギビングの発祥のきっかけとなった、アメリカ開拓時からある野菜の一つで、コーンブレッドは定番メニューです。

トウモロコシの粉と小麦粉を混ぜて焼く、最もオーソドックスなコーンブレッドが発明されたのは、コロンブスの新大陸発見以降、ヨーロッパの人々がアメリカ大陸に渡ってからと考えられます。それ以前に、アメリカ大陸に小麦はありませんでしたし、ヨーロッパの人々はトウモロコシを見たことも食べたこともなかったからです。

ヨーロッパ人がアメリカ大陸に小麦とオレンジをもたらし、一方新大陸からトウモロコシなどの新しい作物を得た出来事を、アメリカでは「偉大な交換」(The Great Exchange)と呼びます。これによって、人類の食生活が大幅に進歩、多様化したからです。



まとめ

アメリカではイブよりもクリスマス当日が大切

日本はクリスマス当日よりも、前日の24日のほうが盛り上がっていて、カップルの日、恋人の日……と言ってもいいほどです。Eveは、「evening(夜)」と同義の「even」の語末音が消失した言葉だと言われています。

ところがアメリカだと24日は何もしない人もいて、当日の12月25日が大切です。クリスマスは家族でそろってごちそうを食べることが大きな楽しみの1つで、「家族行事」です。

2日間を使って、たとえばイブには奥さんの実家に行ってお祝いをして、クリスマス当日は旦那さんの実家に行くという方もいます。こういう場合は、2日間連続でごちそうになります。

日本はなぜ七面鳥の代わりにチキンを食べるのか？



実際、日本ではクリスマスに七面鳥料理を食べる人が少ないです。一般的にはクリスマスの特製ケーキやチキンの料理を食べます。

では、なぜ日本では七面鳥の丸焼きではなく、フライドチキンやクリスマスケーキを食べるようになったのでしょうか。七面鳥と言えば、アメリカでは手に入りやすいものですが、日本では簡単に手に入れられるものではありません。日本の一般家庭では七面鳥の焼き方がわからないし、七面鳥を焼くための料理器具もないため、七面鳥を買って自分で料理を作ることも難しいです。



クリスマスになると七面鳥を売っていることがあるかもしれませんが、チキンより2~3倍の高い物ですので、やはりチキンを食べるほうがいいのです。

【お知らせ】

1、通知表について ※今学期より、所見の記述は印字となりますので、ご承知おきください。

2、〈1月の予定〉

1月7日	3学期始業日	
1月14日	高等部進学進級説明会	書初め体験会
1月21日	避難訓練 トルネード	書初め体験会
1月28日	幼稚部節分集会	第2回漢字能力検定

書初め体験会 (国語の授業)

1月14日 小5,6 中1,2

1月21日 中3 高等部

- ・習字道具は必要ありません。学校のものを使います。
- ・墨がついてもよい服装
- ・学校に新聞紙が少ないため、家にある人は学校用に数枚持ってきて、協力していただけるとありがたいです。

本日の配布物 通知表